

Road  
to  
ZERO2010 NPT再検討会議  
生協代表団 現地報告 from NY5月4日(火)  
発行  
しずおか・やまなし  
神奈川の生協代表団

## ニュージーランド政府代表部へ要請

行動4日目。私たちはニュージーランド政府代表部を訪問し、国連大使ジム・マックレイさんに被爆者と組合員の願いを届けました。

被団協の山田さんが「今日ここに来た被爆者3人は、実際の被爆体験を持つ者です。核兵器をなくすためにNPT再検討会議が成功する様に協力してほしい」と最初の挨拶で要請。続いて被爆者の塩瀬さん、仲伏さんがそれぞれ「両親と兄2人を亡くし、孤児になってしまった」

「家族の多くを亡くした。被爆者は平均年齢76才になったが、何としても核兵器をなくしたい。力を貸して下さい」と訴えました。コープかながわの木村理事が、生協のとりくみを紹介しつつ「核兵器と人類は共存できない」「何としても会議を成功させてほしい」と神奈川・静岡・山梨三県の組合員の願いを伝えました。



## 残された3週間半、核兵器反対の願いが実現するよう、全力で頑張ります」



ジム・マックレイさんは、「前向きな結果を多くの人々が望んでいる」「ニュージーランドは核兵器に反対をしている国です。共通の目的を持った諸国と一緒に活動をしている」「NPT会議には自分たちの明確なスタンスで臨んでいる」。そして最後に、「残された3週間半、核兵器反対の願いが実現するよう、それだけを目指して突進するつもりだ。これから核保有国との話しあいがあるので時間がなくて申し訳ないが全力で頑張ります」と笑顔で実に力強く決意を語ってくれました。参加者はみな大感激で組合員から託された折り鶴とメッセージカードを大使にお渡しし感謝の挨拶をしました。

## 「NPT 再検討会議 一般討論」を傍聴しました

5月4日午後3時から国連総合ホールで行われた「NPT 再検討会議 一般討論」を、中村雄子さんと田村良夫さん（神奈川県原爆被災者の会）、木村朱里さんの3人が傍聴しました。

会議ではまず、日本の福山外務副大臣が、「60年以上たった今日もなお大勢の人々が放射能の被害に苦しんでいます。核兵器の惨禍が二度と繰り返されてはならない。唯一の戦争被爆国である我が国は核兵器廃絶に向けて先頭に立って行動すべき」などと会議に寄せる鳩山総理大臣からメッセージを読まれました。それから被爆者の方々がニューヨークで核兵器の悲惨さを訴えておられることも紹介されました。

当初の予定では困難だと思われていた傍聴ができ感激する半面、会議への各国の出席率は高くなく、残念な気持ちも残りました。全世界の平和に関わる会議、もっと活気があるべきなのではと感じました。

### <グリーンニッジ日本人学校で証言活動>

5月4日(水)、ニューヨーク市の北、70キロのところにあるグリーンニッジ日本校を訪問しました。被団協からはA班の蒔添安雄さん、川中優子さん、M班の田邊俊太郎さん、長岡和幸さん、畑谷由江さんが証言をしました。緑いっぱいの広い敷地の中にある日本人学校は、まるで別世界、それで生徒数はわずか150人とのこと、驚きました。

昼食後は、各学年にわかれて、被爆者の方が証言を行いました。証言者の一人の長岡さんは原爆の想像を絶する威力のこと、原爆投下時の様子、今世界にある核兵器の数のことなどを話し、18人の生徒はみんな大変熱心に耳を傾けていました。証言の後の質疑応答も活発で、長岡さんも一生懸命に生徒に答えを返している姿はとても印象的でした。最後に講堂で、職員の皆さんと生徒全員から感謝の言葉が被爆者へ贈られ、訪問団の呼びかけで「青い空は」を全員で歌い、あの時の空をみんなで思い描きました。



### <被爆者インタビュー>

田邊俊太郎さん（東京都被爆者団体協議会）

グリーンニッジ日本学校の生徒たちみんなが真剣に私の話を聞いてくれたのがとてもうれしかった。これまで毎年1枚づつ描いた9枚の絵を今日子供たちへ見せ、原爆の恐ろしさを伝えられたことは今回のニューヨーク訪問で一番充実した時間でした。話を聞いた中学3年生のK君からは「原爆は絶対に使ってはいけないと思いました。」という声が返ってきました。

畑谷由江さん（東京都被爆者団体協議会）

初日の平和大行進と2日目の養老院での証言活動が急遽参加できなくなってしまいとても悔しい思いをしました。しかし3日目の日本人学校の訪問では、生徒たちがとても熱心に聞いてくれ、クラスの30人の生徒ほとんどが質問をくれました。本当に日本から来て良かったと感じました。「みんなわかった？」という質問に「はい！」と大きな声が教室の中に響きわたりました。

長岡和幸さん（東京都被爆者団体協議会）

話を聞いた日本人学校の中学1年生から「アメリカをどう思われますか？」という質問がありました。アメリカは60年以上3発目の爆弾を落していない、このことはこれまでの私たちの運動の成果だと思います。この後3発目を絶対に落さないようアメリカに住む全ての人が平和の尊さしっかり考えて生きて欲しいと思います。